

令和7年度諏訪湖研究連絡会 研究紹介プログラム

1 口頭発表 午前の部：10:30～12:05 午後の部：13:00～14:30

No.	時間	研究機関	学部等	職名等	氏名	タイトル
1	10:35～10:50	長野県諏訪湖環境研究センター	調査研究部	研究員	柳生 将之	諏訪湖におけるワカサギの湖岸産卵
2	10:50～11:05	信州大学	理学部	助教	浦井 暖史	放射性炭素を用いた諏訪湖における炭素循環の解明
3	11:05～11:20	信州大学	理学部	准教授	岩田 拓記	浅い富栄養湖における表層正味生産と湖-大気間の二酸化炭素交換の長期変動
4	11:20～11:35	信州大学	工学部	教授	小松 一弘	野尻湖湖心における表層からの酸素供給と底層D0の関係
5	11:35～11:50	大阪大学	大学院工学研究科	教授 修士2年	入江 政安 長谷川 菜月	大気モデルを用いた気候変動の湖水質への影響
6	11:50～12:05	お茶の水女子大学	基幹研究院	教授	長谷川 直子	20世紀前半の諏訪の気象データ発掘の状況報告
7	13:00～13:15	長野県諏訪湖環境研究センター	調査研究部	主任研究員	中山 隆	千曲川における出水時のマイクロプラスチック(MPs)流出実態
9	13:30～13:45	東京大学 海洋研究開発機構 理化学研究所	大学院理学系研究科 生物地球化学センター バイオリソース研究センター	博士課程 研究生 学振特別研究員	西村 大樹	諏訪盆地のメタンと水素に依存した地下微生物生態系
10	13:45～14:00	東北大学	大学院生命科学研究科	助教	牧野 渡	DNAバーコーディングを用いた動物プランクトンの種判別
11	14:00～14:15	高知大学	海洋コア国際研究所	客員教授	公文 富士夫	2024年10月に採取されたコア試料に確認された過去100年間の洪水堆積物層
12	14:15～14:30	信州大学	理学部	教授	吉田 孝紀	諏訪湖南部における河川形成・埋積史

他1題の口頭発表あり

2 ポスター発表 9:30～10:30 (30分×2交代)

No.	時間	研究機関	学部等	職名等	氏名	タイトル
1	9:30 ～ 10:00	信州大学	工学部	修士2年	飯室 遼	成層期の諏訪湖における風の非一様性と湖水流動の検討
2		信州大学	工学部	学部4年	田中 颯	現地観測と数値計算を用いた強風時における諏訪湖湖上風の検討
3		信州大学	理学部	学部4年	廣本 陽色	諏訪湖上のフラックス観測に対する湖面に起因しない輸送の影響
4		信州大学	理学部附属湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所	学部4年	北澤 丞	高島公園で繁殖するアオサギの生活史の解明
5		信州大学	理学部附属湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所	修士2年	輿石 庸行	諏訪湖における植物プランクトン増殖の制御要因の解明
6		信州大学	理学部附属湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所	学部4年	鍋田 佳奈	諏訪湖における植物プランクトン増殖に及ぼす栄養塩負荷の解明
7		信州大学	理学部附属湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所	学部4年	郡山 千鶴	諏訪湖の水草が蓄積する窒素・リンの季節変化
8		信州大学	理学部附属湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所	学部4年	小海 晃博	諏訪湖水中マイクロプラスチックの変動要因の解明
9	10:00 ～ 10:30	長野県環境保全研究所	自然環境部	主任研究員 生物多様性班長	尾関 雅章	諏訪湖畔の水生植物の分布現況
10		長野県水産試験場	諏訪支場	技師	木村 雄大	諏訪湖における水草の繁茂面積の変遷
11		新潟大学 長野県諏訪湖環境研究センター	教育学部 調査研究部	准教授 主任研究員	志賀 隆 小平 由美子	野尻湖の水生植物相調査結果(2025)速報
12		長野県諏訪湖環境研究センター	調査研究部	研究員	柳生 将之	諏訪湖畔に豊富に繁茂するヒシと魚類の生息環境との関係
13		長野県水産試験場	諏訪支場	技師	丸山 瑠太	美鈴湖における耳石標識技術を用いたワカサギ資源状況の評価
14		長野県諏訪湖環境研究センター	調査研究部	研究員 生態系保全班長	宮坂 真司	諏訪湖で羽化するトンボ類の年変動と季節変動
15		長野県諏訪湖環境研究センター	調査研究部	研究員	柳町 信吾	諏訪湖における底泥及び底層水による酸素消費速度の測定